

2023 年 2 月 6 日 ウイルス性腸炎について

こんにちは。もりもりキッズアレルギークリニックです。

冬から春にかけて流行する病気の一つに急性胃腸炎があります。胃腸炎にはウイルス性と細菌性があり、嘔吐や下痢、発熱が主な症状です。細菌性は強い腹痛や粘血便を伴うことがあります。ウイルス性は突然の嘔吐で始まり、続いて水様の下痢になります。

嘔吐下痢の時に一番大切なことは脱水にならない為の水分補給です。嘔吐が治まるまでは絶飲食で様子をみます。その後 OS-1（※）をスプーン 1 さじから少しずつ飲ませます。ゆっくり量を増やし、嘔吐が治ったら欲しがる分だけ飲ませてください。食欲が出てきたら消化の良いものをあげます。乳児の場合は普段通りミルクや母乳を飲ませてください。※水やお茶は、塩分・糖分を含んでいないので、脱水症の水分補給には適していません。

嘔吐や下痢が治まれば登校・登園できますが、症状が無くてもウイルスの排泄は 2～3 週間は続きます。オムツ等を捨てる際は密封し手洗いをしっかり行ってください。

嘔吐の中には早期治療が必要な場合もありますので、おうちの方がいつもと様子が違うなと感じましたら受診をしてください。

